

了解です。これは「速さ」の中でも、差（何m前/後ろ）→速さ→到着時刻の差へつなぐ、静大付属っぽい王道問題です。

算数が苦手な子でも迷子にならないように、必ずこの順番で解きます。

0. まず、問題文を“図”にする（頭の中の地図）

みんな 同時にPを出発してQへ向かう。

- A：150 m/分（速さが分かっている）
- B：一定（まだ不明）
- C：一定（まだ不明）

6分後の位置関係：

- CはAの 480m後ろ
- BはCより 120m前（つまりBはCより前にいる）

到着の差：

- BはAより 8分遅れてQに着く（Bの方が遅い＝BはAより遅い）

1. まずAが6分で進む距離を出す（ここが出発点）

Aの速さは150m/分。

6分進むと...

$$150 \times 6 = 900$$

✔ Aは6分後に900m進んでいる。

2. CはAの480m後ろ → Cの距離が分かる

「CはAの480m後ろ」ということは、

$$Cの距離 = Aの距離 - 480$$

$$900 - 480 = 420$$

✔ Cは6分後に420m進んでいる。

3. 6分で420m進む → Cの速さが出る

速さ＝距離÷時間 です。

$$Cの速さ = 420 \div 6 = 70$$

✔ (1) Cの速さ＝70 m/分

4. BはCより120m前 → Bの距離が分かる

「BはCより120m前」なので、

$$Bの距離 = Cの距離 + 120$$

$$420 + 120 = 540$$

✓ Bは6分後に540m進んでいる。

5. 6分で540m進む → Bの速さが出る

$$Bの速さ = 540 \div 6 = 90$$

✓ (2) Bの速さ = 90 m/分

ここまでで “速さ” は全部そろった！

- A : 150 m/分
 - B : 90 m/分
 - C : 70 m/分 (今回はQの長さには関係しない)
-

6. ここからが本番：PQの長さを求める

問題文の最後：

「BはAより8分遅れてQに着いた」

つまり、**Bの方が遅い**ので、

$$Bの時間 = Aの時間 + 8$$

6-① PQの長さを「L m」とおく

道PQの長さを L (メートル) とします。

すると、かかった時間は

- Aの時間

$$Aの時間 = L \div 150$$

- Bの時間

$$B\text{の時間} = L \div 90$$

6-②「BはAより8分遅い」を式にする

$$L \div 90 = L \div 150 + 8$$

これが一番大事な式です。

7. 式を解く（算数苦手でもできる形にする）

このままだと分数っぽくて嫌なので、両辺に何かをかけて割り算を消します。

90と150の両方に共通する数は...

✓ いちばんラクなのは 450（ 90×5 、 150×3 ）

両辺に450をかけます。

左辺

$$(L \div 90) \times 450 = L \times (450 \div 90) = L \times 5 = 5L$$

右辺

$$(L \div 150) \times 450 = L \times (450 \div 150) = L \times 3 = 3L$$

$$8 \times 450 = 3600$$

だから式は

$$5L = 3L + 3600$$

7-② Lを求める

$$5L - 3L = 3600$$

$$2L = 3600$$

$$L = 1800$$

✓ (3) PQの長さ = 1800m

最終答え

- (1) Cの速さ：70 m/分
 - (2) Bの速さ：90 m/分
 - (3) PQの長さ：1800 m
-

さいごに「確認」（ここが大事！）

本当に8分差になるか確認します。

- Aの時間

$$1800 \div 150 = 12\text{分}$$

- Bの時間

$$1800 \div 90 = 20\text{分}$$

差は

$$20 - 12 = 8\text{分}$$

☒ 条件ぴったり！

覚えてほしい“必勝手順”（この問題は毎回これ）

1. まず Aの6分後の距離を出す
2. 「○m後ろ/前」を足し引きして B・Cの6分後の距離
3. 距離÷時間で 速さ
- 4.